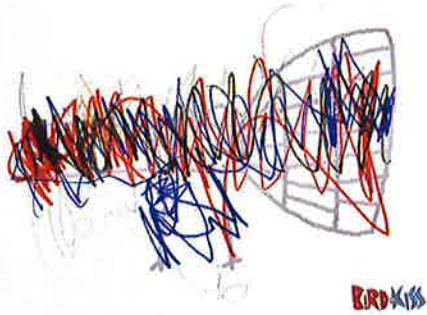


BIRDめり絵の考察001

BIRDを見るのではなく、BIRDの中の自分を見る。

自分の感じたことを色にする行為、加えて、そのワクからはみでる行為を自然にできる環境づくりから、既成概念から抜け出せないか。BIRDめり絵を子どもだけの遊びと考えず、大人も参加して「なんでその色をぬったのかな」なんて考えたり、話し合ったりして欲しい。僕のBIRDは、みなさんが知ってる、いわゆる「鳥」とは違いますよね。だからどんな色にぬっても気にしないでいいでしょ。ぬる色に正解がないです。くちばしだからといって、つつい黄色にしちゃう方はご注意ください(笑)。

誰でもできるめり絵。自分発見アートツール。



BIRDめり絵の考察002

子どもたちの屈託のない作風そのまま大人になつてくれたらというも思う。

無我夢中でぬって欲しい。とにかく何も考えず好きなようにぬる。幼い子どもであればあるほど、魅力的なBIRDが生まれる。

色鉛筆の色すら選ばず手に取った色を塗りたくる子ども。何のための輪郭だかわからなくなるほどにめり込む。人と比べるとか、綺麗に塗るとか考えない。

人間は皆アーティストとして個性を持って生まれてきたのだと思います。そのまま自由に生きていける社会であれば、もっと豊かな地球が築けたのに。

右做えの脱個性が作り上げた資本主義社会から、文化主義的社会へ。

誰でもできるめり絵。自分脱出アートツール。

BIRDめり絵の考察003

大人も子ども化し、自由を手にする。それを見て、子どもは大人を信頼する。

(1) ぬってみたいくなるビジュアル。
(ひとり→自分発見へ)

(2) ぬったものが集まってゆく。
(仲間→相手発見へ)

そこで気づいてもらうことは。

(3) 「同じは違う」というメッセージ
(ネットワーク→パブリックへ)

(4) 「みんなのアート力で地球を美しく」
(アーティストな社会の実現)

めり絵のあっち(大人)と、こっち(子ども)。
誰でもできるめり絵。タイムマシンアートツール。



BIRDめり絵の考察004

アートは、競争がない。自分とBIRDとの同化。自分がオブジェになる。

まずはフラットなベースをつくり、アートなコミュニケーションでメッセージしてゆく。会話してゆく。課題をかいけつしてゆく。あまり難しく考えないで、自分らしさを見つめるきっかけとしてのBIRD-KISSメソッド。いつでもどこでも体験できるBIRD-WSを日々提案していく。

誰でもできるめり絵。課題解決アートツール。

BIRDめり絵の考察005 (ラジオ投稿から)

僕は、めり絵という手法で子どもたちにワークショップ(WS)をしていまして、そのWSは、日本に限らずモンゴル、ミャンマー、カンボジアなどでも実施し、世界の子どもたちを元気にしようと活動しています。

僕の作品は、空想の鳥「BIRD」というのですが、まあ、一言で言うと、鳥なんだけど、「へんないきもの」とよく子どもたちに言われます。実は、BIRDにはルールがあって、どんな自由なカタチでも、くちばしと2つの目、足を2本つけさえすればBIRD。そして、そのBIRDの輪郭線をベースにして、子どもたちが色鉛筆やクレヨンで色をぬるわけですが、出来上がった時に、かならず、ほくのオリジナル作品と子どもたちがぬった作品を並べて聞くんですよ。どっちがいいか?って。そうすると、ほとんどの子どもたちが、自分のBIRDの方がぜったいいいと自慢げにいますね。なんで?どこか?と聞くと「おじさんのBIRDは色が単調だからなあ」だって!完全にオリジナルを超えちゃってるわけです(笑)。その時、あ〜、今日も、BIRDを自分化した新しいBIRDが生まれたんだなと。嬉しく思います。

子どもたちのめり絵を見てますとホント面白いですよ。

- (1) ワクからはみ出ないように慎重にぬる子ども。
- (2) 用意した色鉛筆を全部つかってぬる子ども。
- (3) 羽を足したり、目だまにアイシャドウしたりして自分なりにカスタマイズする子ども。
- (4) くちばしから火を吹いたり、足をたしたり。自分なりにストーリーを考えてぬってる子ども。

そして、やっぱりすごいなあと思うのは、

- (5) ワクからはみだして、ぬりたくる子ども。
- (6) BIRDの輪郭線自体もみえなくなり、もともとなんだったかわからなくなっても、ぬり続ける子ども。

最高です! ソクソク、ドキドキしちゃいます!!

なぜ、そんなに自由にぬれるのかというと、「人と比べると」という意識がないからじゃないかと思えます。小学校とかに入って、どんどん絵が嫌いになる子どもというのは、お絵書き授業に、なんか「うまい」「へた」の基準みたいなものを教えられる(感じちゃう)からというあるんじゃないでしょうか?



だから、こんな風にぬったら、友達にどう思われるんだろうか考えちゃう。自分の好きなようにぬるって、とても勇気のいることじゃないでしょうか?

その点、僕のBIRDは、もともと「へんないきもの」だから、どんな色でどんなめり方しても既存の形状に左右されないのがいいんです。さあ、みなさんも、あの頃を思い出して、もっと自分を大切に、はみ出す勇気を持ちましょう。

BIRDめり絵の考察006

僕が尊敬する画家の熊谷守一さん。ご自宅の森(庭)に住んでいるアリの絵も多く描いていらっしゃいます。94才の夏の1日を描いた映画『モリがいる場所』の中で、「1匹1匹性質があるというとおかしいけれども、気風が違うんですわ」「そして、かならずみんな左足の前から2番目の足から歩き出す」と語っていらっしゃいました。それほど夢中でお描きになっていたんだなと。

あなたも夢中になってBIRDめり絵してみませんか? きっと見えなかった者が見えてきますよ。



BIRD-KISSを知ろう! BIRD-KISSサイトからの抜粋

モノが売れない時代、「売れているキャラクター」を採用することで20%売り上げがアップするという統計がある。結果、キャラクターが街中にあふれ、同じキャラクターが、クルマからキャンディにいたるまで登場。そして家にもどこかへ出かけても、同じキャラクターが微笑んでくれている。そのキャラクターが好きなのは、とてもうれしい事には違いないのだが、僕はこう思う。キャラクターがかわいいうさだ。もともと、キャラクターたちは、なんのために生まれたのだろうか? 制作者は、どんな想いをキャラクターに託していたのだろうか? そんな風に考えて見ると、いたん制作者の手を離れたキャラクターたちは、商業という観点だけで使用され、本来の意図から想像もつかないモノにまで登場しているってことはないのだろうか? なんでもかんでも「カワイイ」というだけで購買意欲をそそいでいないか? 反対に「カワイイ」だけで、買っている自分がいらないんじゃないか。少なくとも僕の手に生まれたキャラクターはキャラクターたちのアイデンティティを大切にしたいし、そのアイデンティティを理解していただくところからアートなコミュニケーションをスタートしたいと思っています。

CHARACTERS-BIRD
コミュニケーション
キャラクター

地球BIRD

■アース BIRD-KISS
丸い形だけでなく、四角や三角などいろんな形の地球BIRD、同じ地球でも、いろんな視点で考えることで、大切にしたい気持ちもいろいろある。地球の環境問題など身近な問題の多いテーマで幅広くみんなで作るために地球BIRDです。

アンモ BIRD

■アンモ @ BIRD-KISS
3年前から地球上に生息していたアンモナイト、外観は同じように見えますが、決して同じかたちの鳥はありません。翼が得意な鳥を自由に泳ぎ回っていたアンモナイトが大好きです。

千支/シーズン-BIRD

■千支 BIRD-KISS
千支(チンシ)は、中国の伝統的な凧(カイト)です。千支は、中国の伝統的な凧(カイト)です。千支は、中国の伝統的な凧(カイト)です。

CAT BIRD

■キャット BIRD-KISS
BIRDと出会った方から、「CAT」風を模倣して、制作して欲しい依頼があった。その「猫らしさ」をどこまで伝えられるか考えました。

ТЭГЭГД

WONOGIA VILLAGE

■モンゴル BIRD-KISS
1990年の夏、那須高原に「モンゴリア・ビレッジ・テンゲル」という宿泊施設をオープン。本格的なモンゴルの自然を楽しむ生活を体験できます。ぜひ!

習成しすぎた3匹

■習成しすぎた3匹
鳥が人間のように複雑な構造を持つようになった。鳥が人間のように複雑な構造を持つようになった。

BIRD-1

■バードキス
空想の鳥「BIRD」。くちばし「両目」「尾」という3つのアイテムを組み合わせ「鳥」でいいというルールによって100頭の「鳥-BIRD」は誕生しました。ちなみに、KISSは、コミュニケーションを大切にしようという想いをこめています。また、活形作家とのコラボで立体の作品も誕生しています。

BIRD-2

■トリップバード
立体BIRDをつれてモンゴルやクアアアの街へ。

フクチンBIRD アマビエBIRD

■はっぱ BIRD
■デンタル BIRD
Vaccinated

ピース BIRD

■ピース BIRD-KISS
戦争を思いやる心、自分を愛することから始まる。自分がハッピーなら、相手もハッピー。自分がいとお、相手も思い。ピース BIRD-KISSは、戦争を思いやる心、自分を愛することから始まる。

TWINS-BIRD

■ツインズ BIRD-KISS
相手も思いやる心、自分を愛することから始まる。自分がハッピーなら、相手もハッピー。自分がいとお、相手も思い。

FACE-BIRD

■フェイス BIRD-KISS
自分の顔をじっくり見たことありますか? 笑った顔、怒った顔、悲しい顔、困った顔など、色々な表情の顔を作っています。

FISH-BIRD

■フィッシュ BIRD-KISS
東京湾には、どのくらいの生物がいるだろうか? 魚に変わった鳥たちでも、371種類。この豊かな海を守ってゆく子供たちが増えることを願う。

BOURBON-BIRD

■バーボン BIRD-KISS
好きなボトルの形も一緒に楽しめるのがバーボン。また、バーボン誕生の歴史も興味深い。一样、いかがですか?

レコード-BIRD

■レコード BIRD-KISS
中野にある懐かしいレコードを聴かせてくれるお店のキャラクターとして考えました。BIRDが音楽時代へとつながります。

ひよこ-BIRD

■ひよこ BIRD-KISS
ひよこ BIRD-KISS

みのり太鼓-BIRD

■みのり太鼓 BIRD-KISS
おのりの活動応援する「みのり太鼓」キャラクター。元気いっぱいのワークショップをバリエーション、練習とあわせて「治療環境」を考える BIRD-KISS ワークショップも開催しています。

クラブ BIRD-KISS

■クラブ BIRD-KISS
カニだからって横歩きじゃなくてもいい。横歩き、斜め歩き、後歩き、そしてジャンプだってできる。個性豊かなカニたちが歩幅を歩きます。

BOX-BIRD

■ボックス BIRD-KISS
誰もが持っている自分だけの「魔法の箱」。そこから、いろんな可能性が生まれ、いろんな人へ広がっていきます。自分を信じて生きてゆこう。

CHARACTER-BIRD

■キャラクター BIRD-KISS
個性豊かなカニたちが歩幅を歩きます。

Myu-BIRD

■Myu BIRD-KISS
四季文化祭の催しから活動している「筑前四季文化祭」のキャラクター。20年のつぎあいであるMyuは、関2代に代わって参加されている筑前主体の団体です。歌々のオリジナル作品を上演されています。

EGG-BIRD

■EGG BIRD-KISS
四季文化祭の催し「たまご園」での、BIRD-KISS ワークショップのコラボキャラ。テーマは「笑顔」。笑顔が楽しさを生むのでいい。楽しいから笑顔になる。楽しいことをみんなで作ろう! カブズ エッグでのおくじや抽り籤で、子どもたちの笑顔にイベントになりました。

マタニティ-BIRD

■マタニティ BIRD-KISS
四季文化祭の催し「マタニティコンサート」ワークショップのコラボ BIRD-KISS ワークアップ。ベリベリとアートを手にあそびたい! 「クラウド BIRD」で、大切な未来の命のために祝いました。

ボトル BIRD-KISS

■ボトル BIRD-KISS
大切なメッセージをボトルに書いて、そっと海に流す。海があなたの思いを届ける。ボトルが流れてくれます。いつか、どこかで、だれかが、あなたの思いを感じてくれるかも知れませんよ。

GIRLS-BIRD

■ガールズ BIRD-KISS
人を購うから自分らしい。とっても個性豊かな少女たち。他の人と比べるとなく、自分たちの好きなようにコーディネートする少女たちは、素敵な笑顔いっぱい、とても輝いています。

MONOGIA VILLAGE

■モンゴリア BIRD-KISS
1990年の夏、那須高原に「モンゴリア・ビレッジ・テンゲル」という宿泊施設をオープン。本格的なモンゴルの自然を楽しむ生活を体験できます。ぜひ!

習成しすぎた3匹

■習成しすぎた3匹
鳥が人間のように複雑な構造を持つようになった。鳥が人間のように複雑な構造を持つようになった。

習成しすぎた3匹

■習成しすぎた3匹
鳥が人間のように複雑な構造を持つようになった。鳥が人間のように複雑な構造を持つようになった。